資料1

道内の感染状況等について

【令和4年3月11日】

主な指標の状況

3／10	レベル	移行指標 病床使用率	移行指標 重症病床使用率	移行指標 10万人当たり新規感染者数	移行指標 10万人当たり療養者数	その他指標 新規感染者数 今週先週比	その他指標 感染経路不明割合	その他指標 PCR陽性率
全道	2	30.8%（639床）↘	6.7%（9床）↗	224.2人/週（11722人/週）↘	379.9人（19863人）↘	0.81 ↘	58.4% ↘	26.3% ↘
札幌市	2	41.9%（265床）↘	8.9%（4床）→	291.3人/週（5715人/週）↘	413.4人（8109人）↘	0.77 ↘	77.2% ↘	35.4% ↘
札幌市を除く地域	2	25.9%（374床）↘	5.6%（5床）↗	183.9人/週（6007人/週）↘	359.8人（11754人）↘	0.85 ↘	40.6% ↘	21.1% ↘

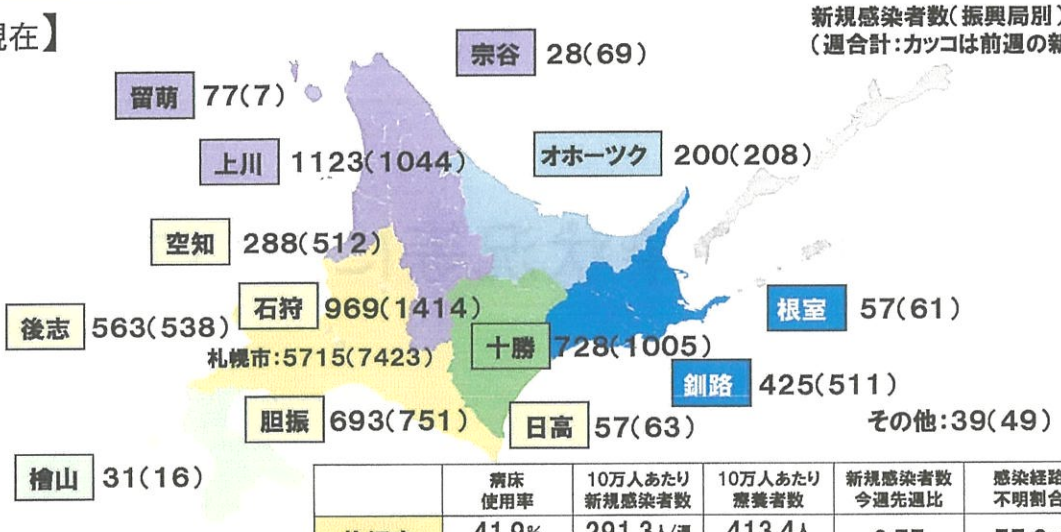
レベル２ 移行指標	20% 又は 20%	15人/週	20人
レベル３ 移行指標	50% 又は 50%	－	－

※（　）は実数。
※各指標の動向（矢印）は、１週間前との比較。
※現在、高齢者施設や同居家族などに疫学調査を重点化していることから、結果として、感染経路不明割合、PCR陽性率は高い数値となる可能性がある。

地域における主な指標の状況

【3/10現在】

新規感染者数（振興局別）
（週合計：カッコは前週の新規感染者数）



	病床使用率	10万人あたり新規感染者数	10万人あたり療養者数	新規感染者数今週先週比	感染経路不明割合	PCR陽性率
札幌市	41.9%（265床）	291.3人/週（5715人/週）	413.4人（8109人）	0.77	77.2%	35.4%
道央圏（札幌市除く）	35.4%（162床）	189.9人/週（2570人/週）	479.4人（6488人）	0.78	47.9%	20.7%
道北圏	23.8%（72床）	208.0人/週（1228人/週）	364.1人（2149人）	1.10	33.4%	17.8%
道南圏	29.8%（62床）	181.8人/週（760人/週）	350.6人（1466人）	0.92	19.7%	28.1%
十勝圏	34.7%（52床）	217.5人/週（728人/週）	258.7人（866人）	0.72	56.5%	24.7%
オホーツク圏	4.3%（5床）	73.1人/週（200人/週）	84.8人（232人）	0.96	28.0%	13.7%
釧路・根室圏	10.1%（21床）	162.3人/週（482人/週）	186.2人（553人）	0.84	33.6%	28.2%

※地域別の病床使用率や新規感染者数等の数値は、変動が大きくなる場合があることに留意。

総　評

【医療提供体制】

○ 療養者数は減少傾向が継続しており、病床使用率も減少に転じはじめた。札幌市以外の地域の減少が見られる一方、札幌市では高止まりが続き、全体を押し上げている状況。医療機関等での集団感染事例の確認が続いているが、件数は減少。

【感染状況】

○ 新規感染者数は、引き続き、各地で感染事例が確認されているものの、減少傾向が継続している。

○ 年代別では、30代以下、60代以上ともに減少している。

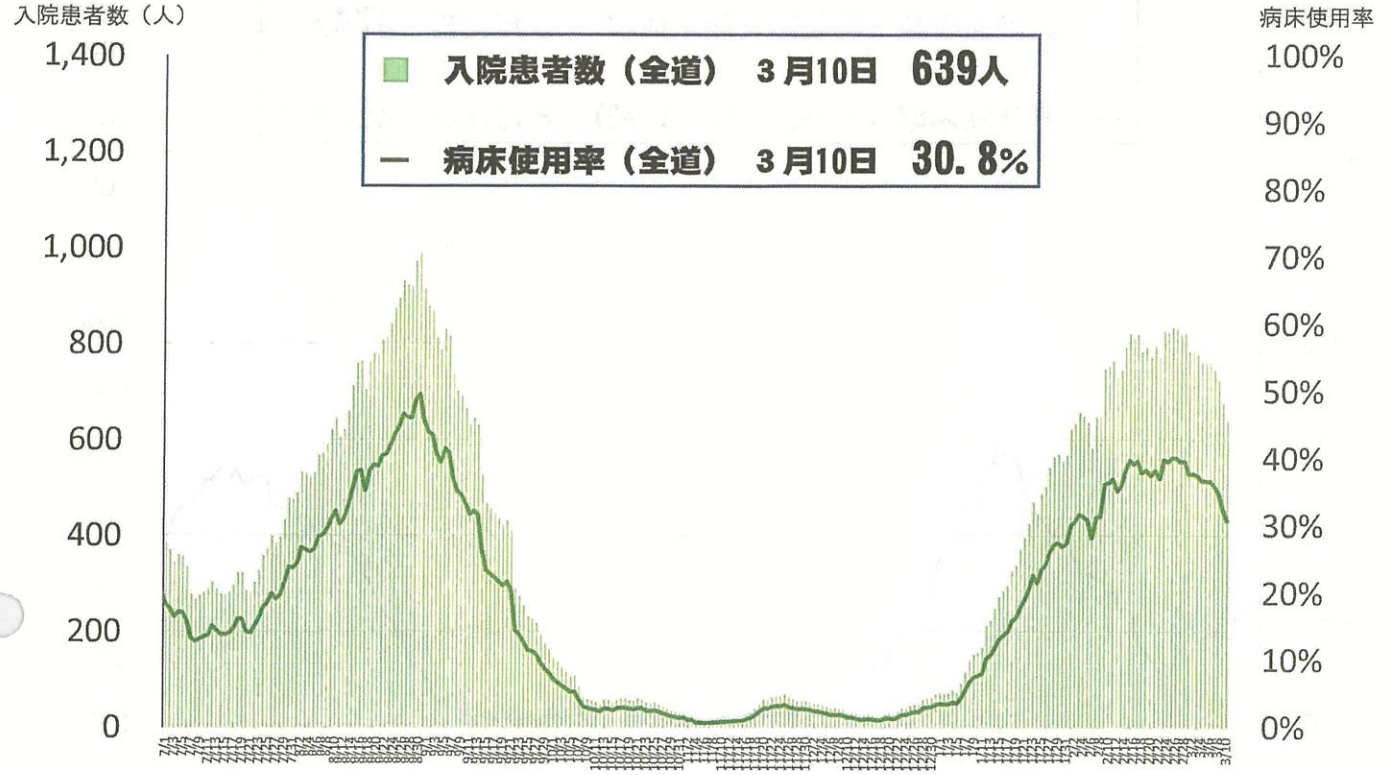
【今後の対策】

○ 新規感染者数は減少が続き、病床使用率も減少に転じはじめたが、札幌市の病床使用率は高止まりが続くなど、引き続き、警戒が必要な状況。まん延防止等重点措置の下、全道において、感染リスクが高まる場面や感染が広がっている場所における感染防止行動の徹底を図る。

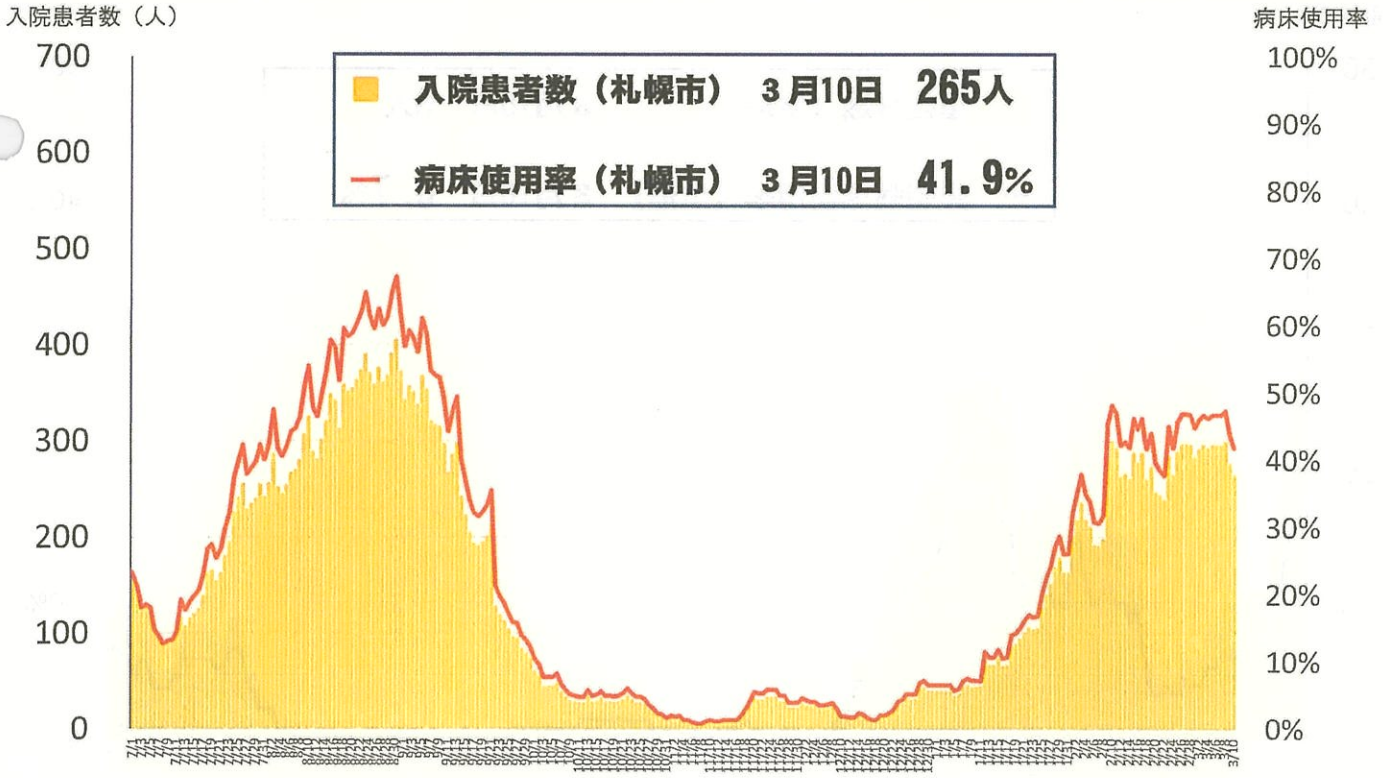
○ ワクチンの追加接種の加速をはじめ、経口治療薬を提供する医療機関等や無料検査登録事業所の拡充、第三者認証の取得促進など、感染防止対策と社会経済活動の回復の両立に向けた取組を集中的に進める。

○ 今後、就職や卒業・進学等に伴う人の移動や会食機会の増加など、感染リスクの高まる時期を迎えることから、年度末、年度はじめに向けた対策の徹底を呼びかける。

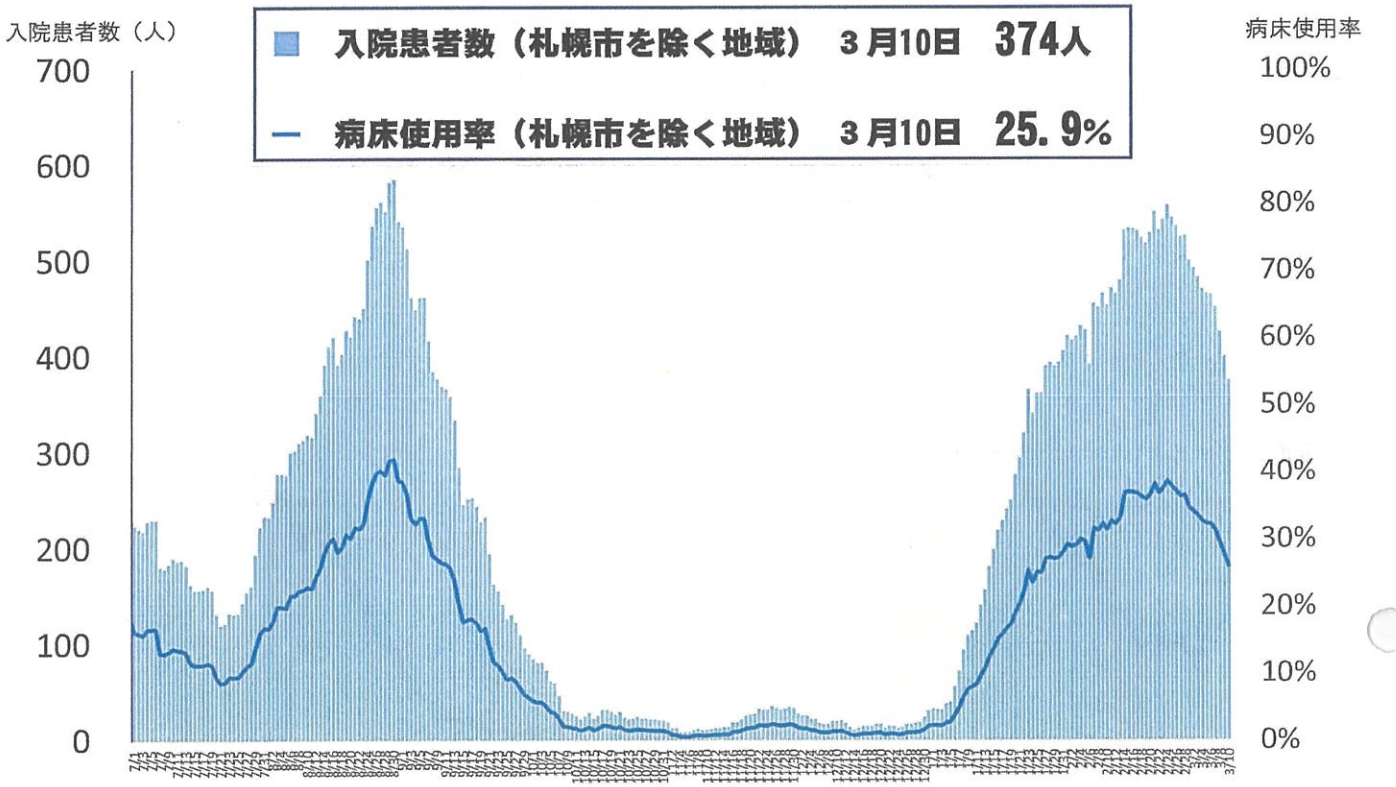
入院患者数と病床使用率（全道）



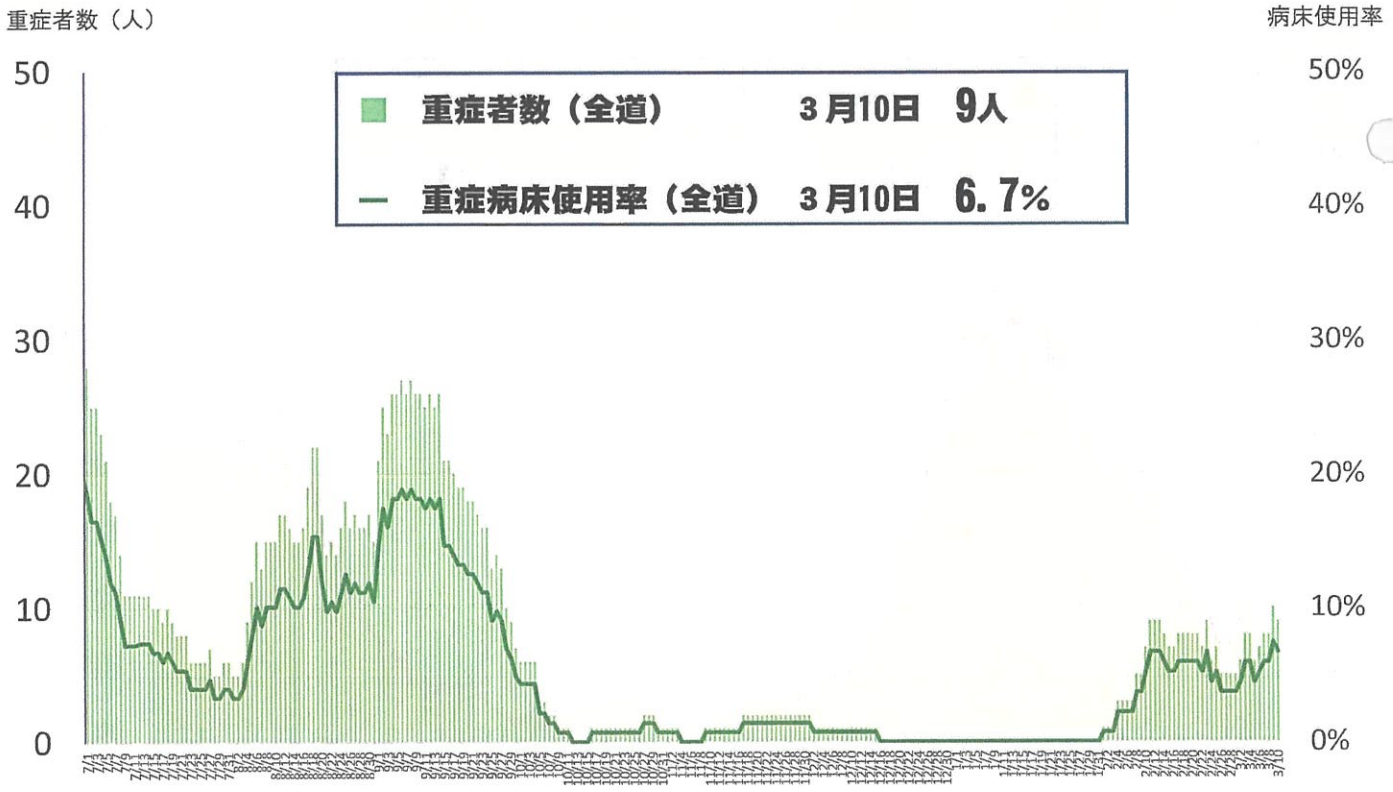
入院患者数と病床使用率（札幌市）



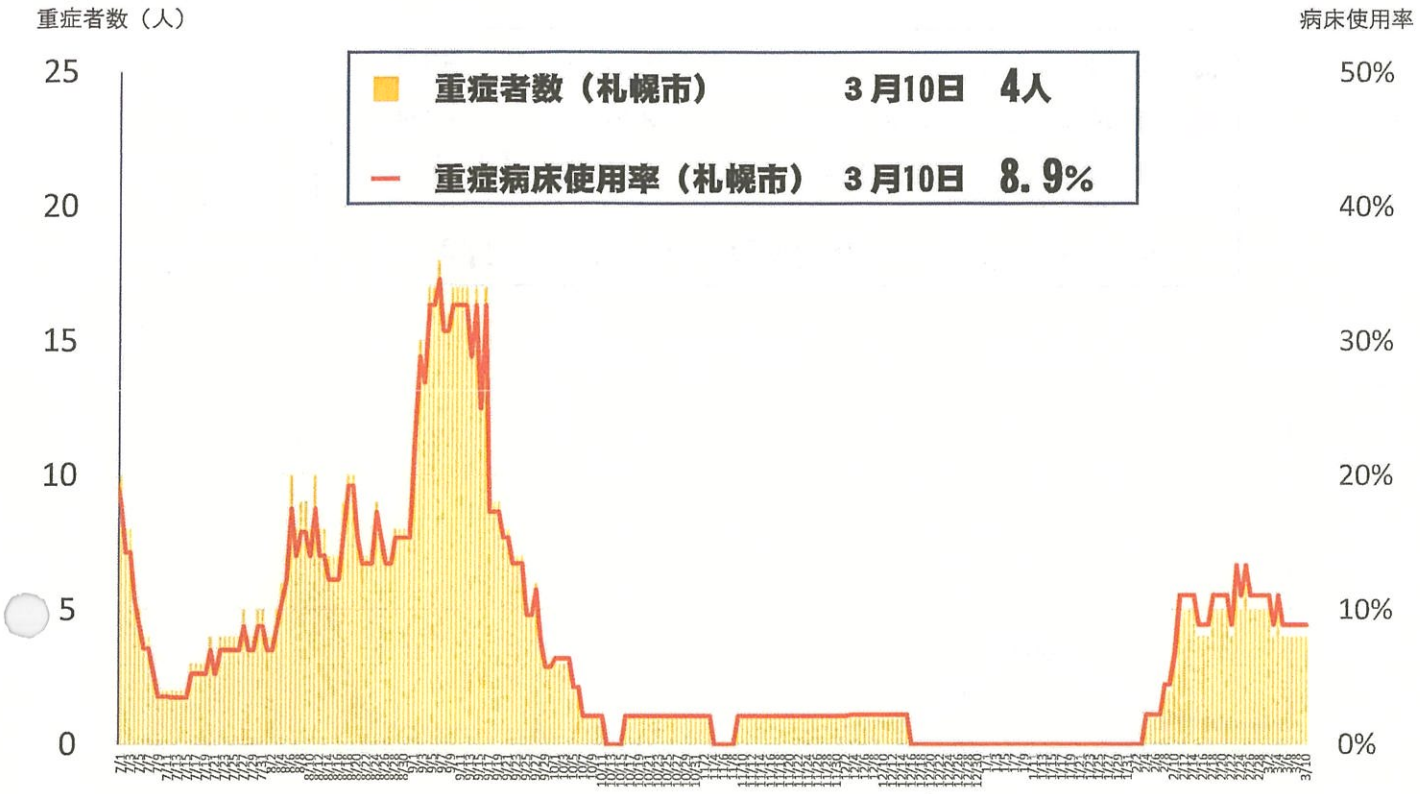
入院患者数と病床使用率（札幌市を除く地域）



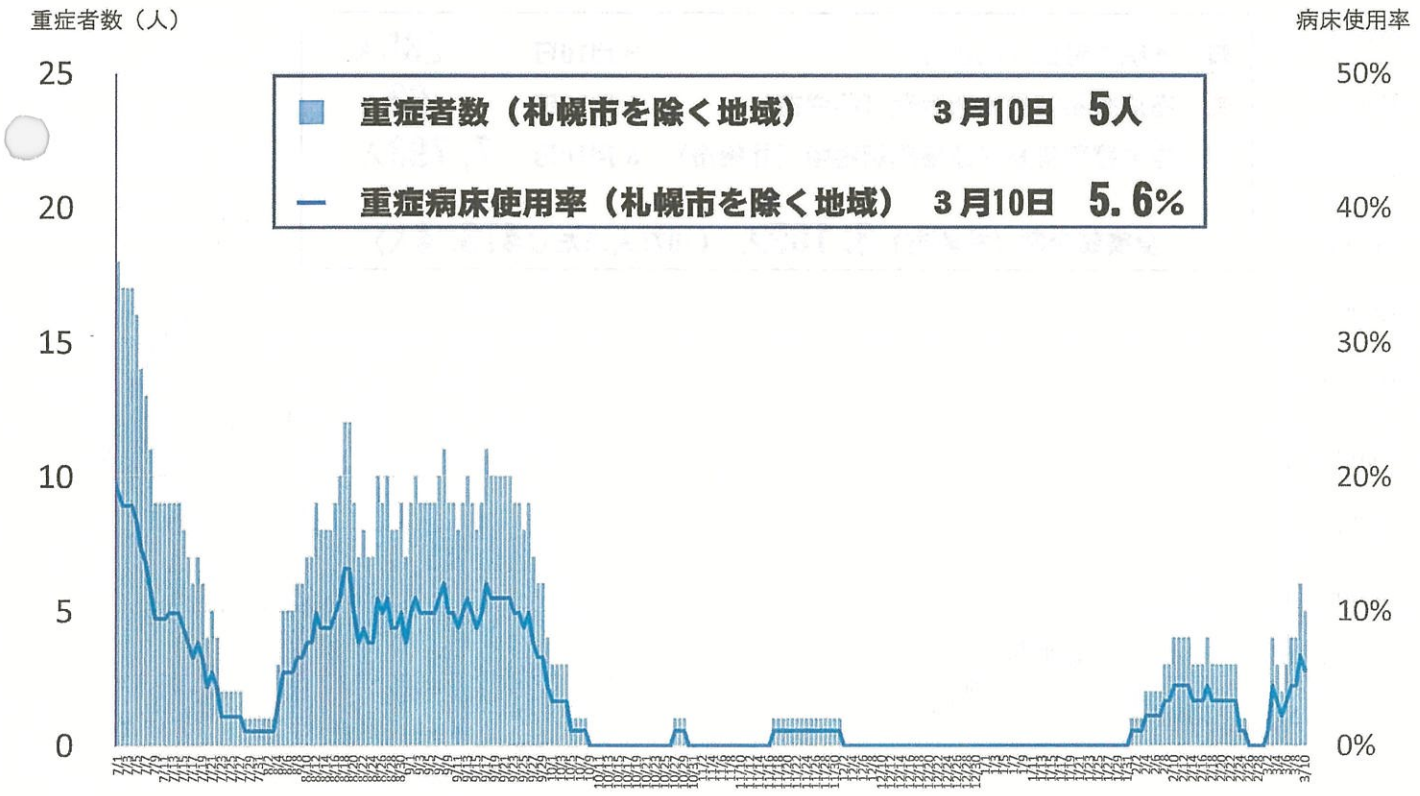
重症者数と重症病床使用率（全道）



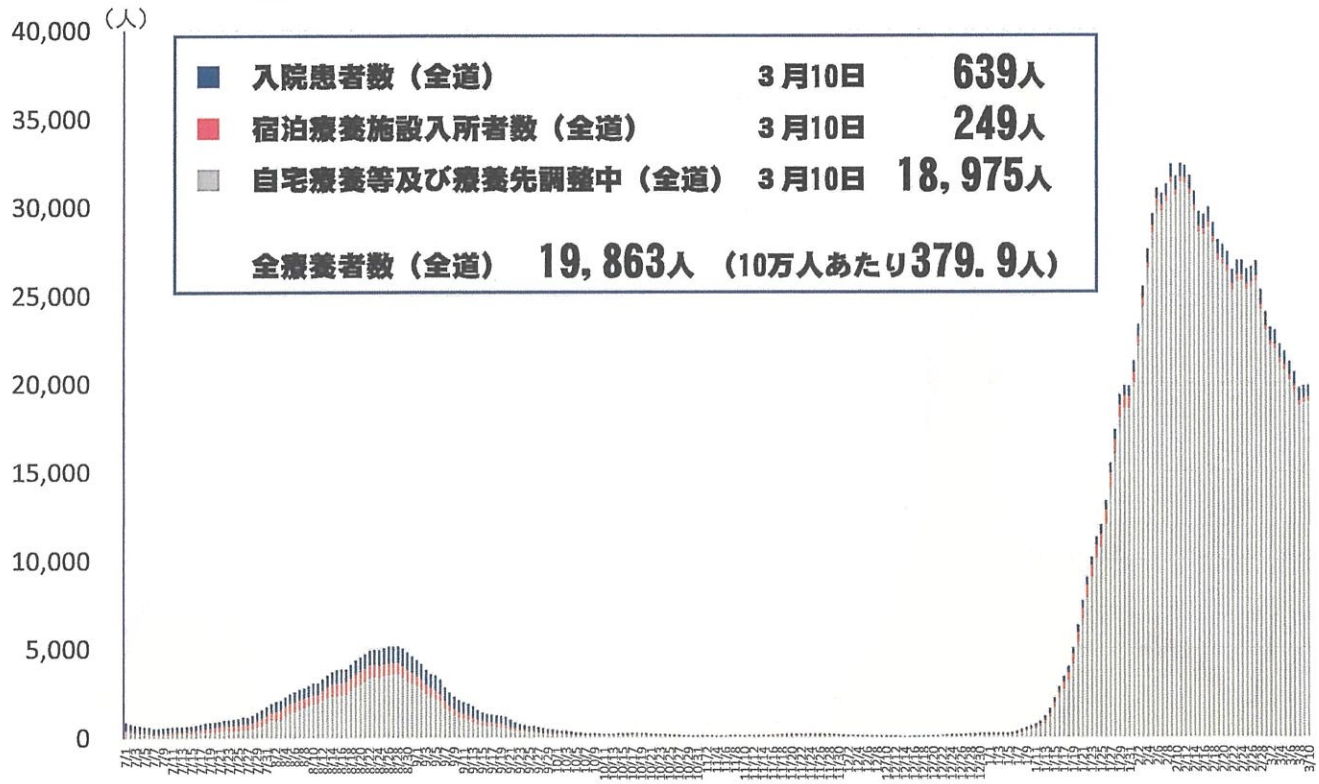
重症者数と重症病床使用率（札幌市）



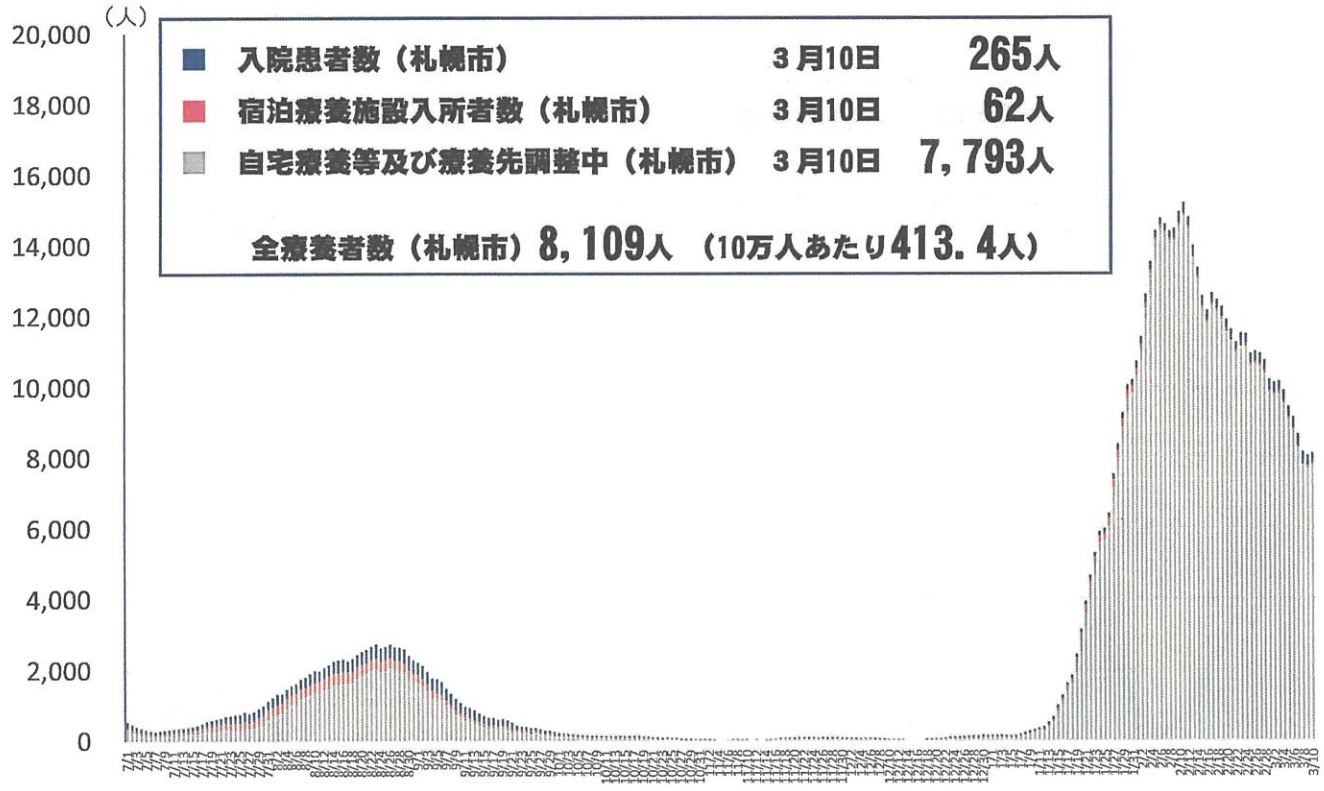
重症者数と重症病床使用率（札幌市を除く地域）



療養者数（全道）

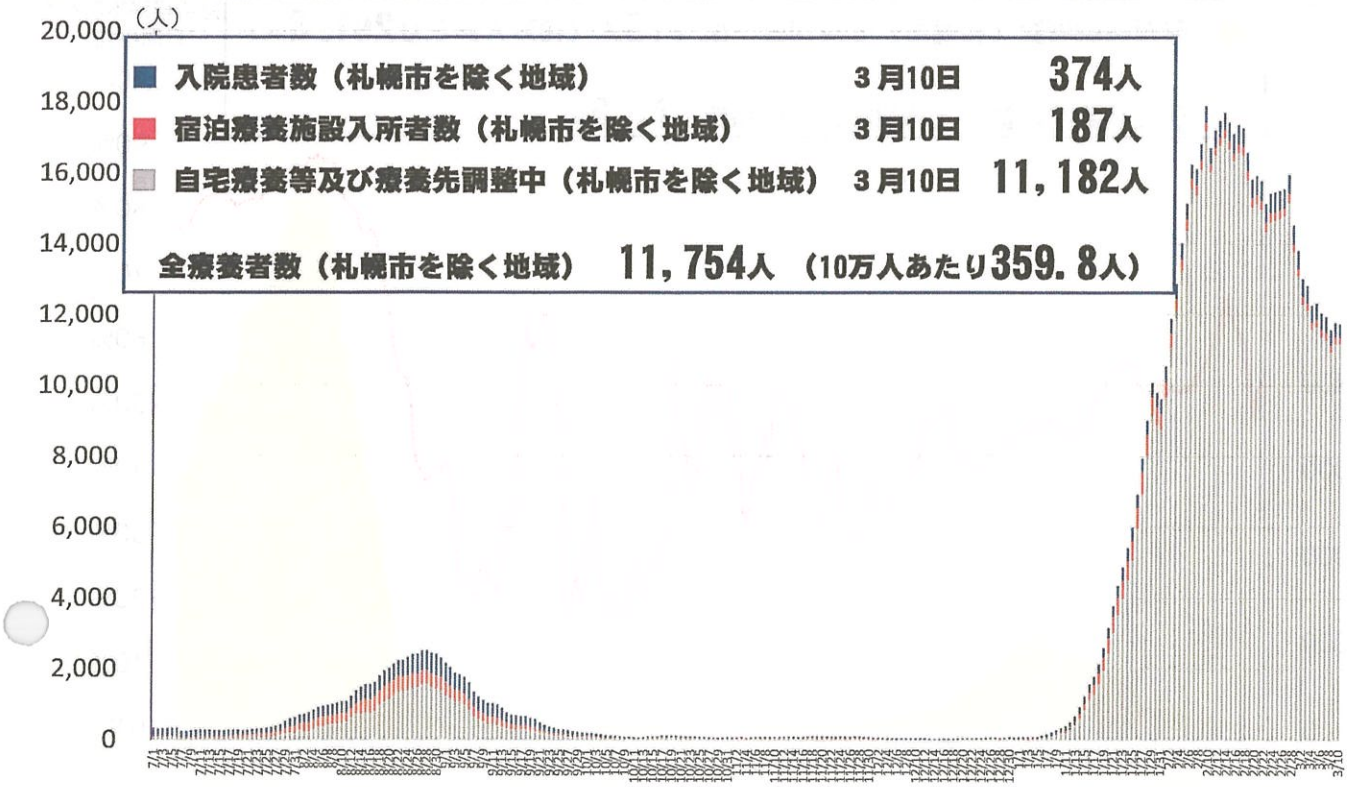


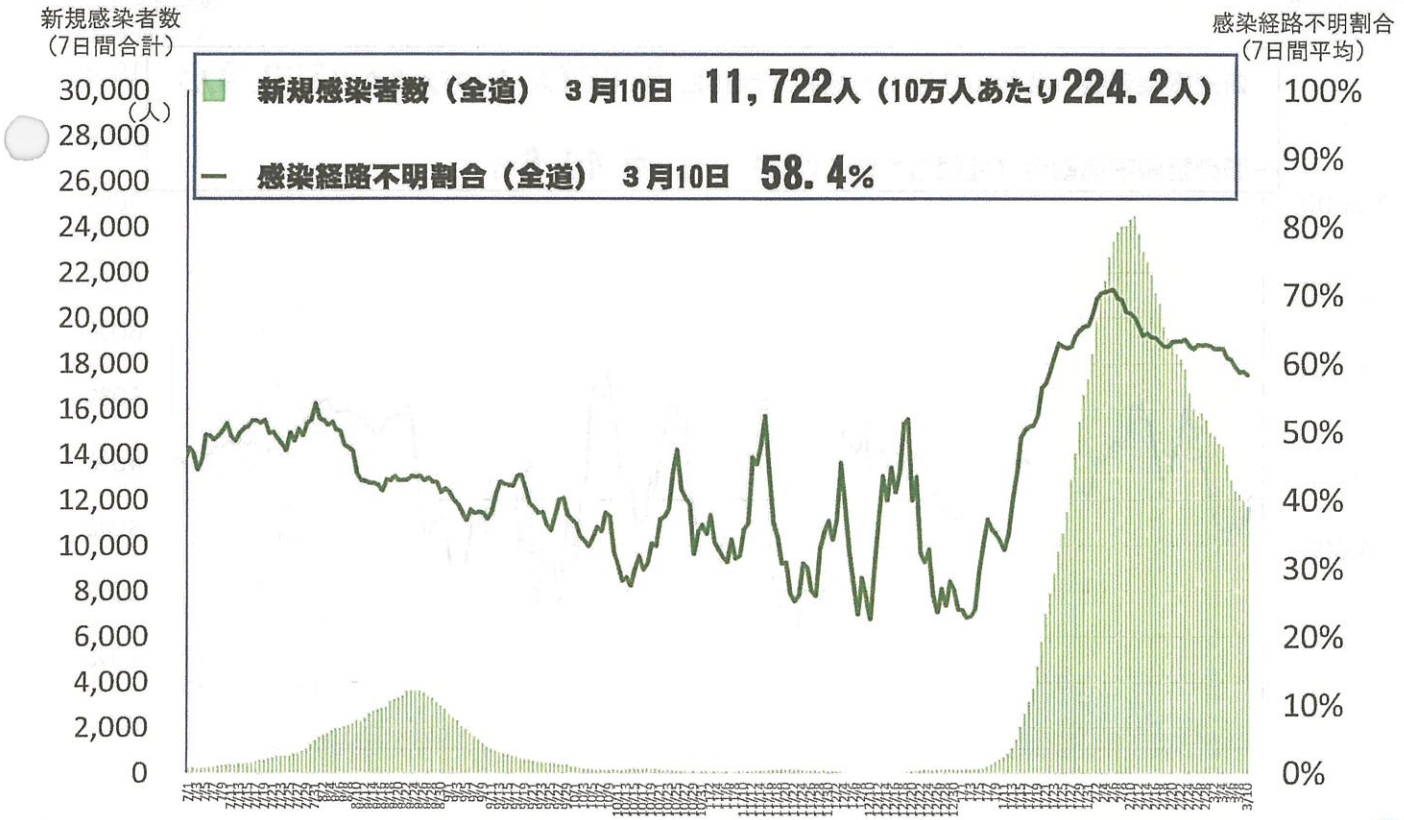
療養者数（札幌市）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

療養者数（札幌市を除く地域）



※入院患者数は、各圏域の医療機関に入院している患者数を集計しており、他の項目との計が全療養者数と一致しない場合がある。

新規感染者数と感染経路不明割合（全道）